

都内で第3号物件となる宿泊主体型ホテル開発
「(仮称)東池袋三丁目ホテルプロジェクト」に着手
2020年3月竣工予定、共立メンテナンスが「ドーマーイン」として運営

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、代表取締役社長:松典男、以下「伊藤忠都市開発」)は、東京都豊島区東池袋三丁目において、他2社との共同事業として開発を推進している「(仮称)東池袋三丁目ホテルプロジェクト」につきまして、2018年7月初旬に新築工事の着工を迎えましたのでお知らせいたします。

伊藤忠都市開発のホテル開発事業としては、「(仮称)港区高輪三丁目ホテル計画 [正式名称:都シティ東京高輪]」、「(仮称)秋葉原ホテルプロジェクト」に次ぐ、第3号物件となる宿泊主体型ホテルです。インバウンド観光客の増加や2020年の東京オリンピック・パラリンピック等を背景に、今後もビジネス・観光ともに更なる宿泊需要が見込めるとの判断から、従前からのコアアセットである分譲・賃貸住宅及び物流施設開発事業に、新たにホテル開発事業を加えることで、事業領域の拡大に取り組んでいます。

本プロジェクトは、都内有数のターミナル駅である「池袋」駅が利用可能な利便性に優れた立地であり、旧豊島区役所跡地の再開発計画を始めとする街区整備が行われ、多くのビジネスマンや日本人・外国人観光客が訪れることが期待されるエリアに位置しています。

開発後は、ホテル運営を行う(株)共立メンテナンスが、全国に展開する同社のホテルブランド「ドーマーイン」として出店予定で、都心に佇むスタイリッシュな外観を施す一方、大浴場や露天風呂を最上階に設けるなど、同ブランドのコンセプトに沿った商品企画を行っております。客室数は192室(15㎡台・シングルルーム中心)を予定しており、伊藤忠都市開発が住宅開発事業で培ってきたノウハウ及び共立グループのホテル運営の経験を活かし、利用者にとって快適な客室空間を提供いたします。

なお、建物竣工後、土地建物は一括で芙蓉総合リース(株)に売却することが確定しています。

(株)共立メンテナンスと初めての取り組みとなる本プロジェクトを皮切りに、共立グループを始めとするホテル運営会社との協業に積極的に取り組むとともに、これまでのJ-REIT運用会社への出資や開発案件のREIT・私募ファンド等への提供を通じて培ったビジネスノウハウを活用し、都心のみならず地方都市を含めた需要の高いエリアでのホテル開発を検討して参ります。



【物件位置図】



【外観予想図】

<物件概要>

物件名	「(仮称)東池袋三丁目ホテルプロジェクト」
所在地	東京都豊島区東池袋三丁目 60-1、60-13(地番)
交通	JR山手線「池袋」駅徒歩 8 分、東京メトロ有楽町線「東池袋」駅徒歩 7 分
構造規模	鉄筋コンクリート造・地上 15 階建 地下 1 階建
敷地面積	750.57 m ²
総客室数	192 室(他、レストランあり)
客室面積	約 15 m ² ~22 m ²
竣工予定日	2020 年 3 月 31 日(予定)
設計管理者	株式会社合田工務店一級建築士事務所
施工者	株式会社合田工務店 東京本店

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

伊藤忠都市開発(株) 広報室/有吉 TEL:03-6811-0221